

# 近江八幡市立総合医療センター

## 検査項目の説明と基準値

健康診断などでよく使われる検査項目の説明です。

検査は、性別・年齢や採血時の状態によって異常値を示す場合もありますので、ご自身で判断されない様にお願ひ致します。必ず主治医の指導の下での参考にして下さい。

また、当センターの基準値は下記の通りですが、施設により測定方法が異なることがあり、基準値も同じではありません。

他の施設の検査データと比較される時には、十分ご注意下さい。

項目	日本語名称	成人基準値	単位	検査説明
WBC	白血球数	3.3~8.6	$\times 10^3/\mu\text{l}$	体内に炎症がある時や血液疾患の時に数値の変動がみられます。
RBC	赤血球数	男性4.35~5.55 女性3.86~4.92	$\times 10^6/\mu\text{l}$	貧血の有無や程度を判断します。
Hb	血色素 (ヘモグロビン)	男性13.7~16.8 女性11.6~14.8	g/dL	赤血球中に存在する赤い色素で、貧血や多血症の診断など全身状態が把握できます。
Ht	ヘマトクリット値	男性40.7~50.1 女性35.1~44.4	%	全血のうちの赤血球割合を示し、貧血の有無や程度を判断します。
MCV	平均赤血球容積	83.6~98.2	fL	それぞれ平均赤血球1個あたりのヘモグロビン量・ヘモグロビン濃度・容積を表します。赤血球数・ヘモグロビン量・ヘマトクリット値から計算し、貧血の種類がわかります。
MCH	平均赤血球血色素量	27.5~33.2	pg	
MCHC	平均赤血球血色素濃度	31.7~35.3	%	
PLT	血小板数	158~348	$\times 10^3/\mu\text{l}$	血小板は、止血する働きがあり、減少した場合出血しやすくなります。出血傾向、血液凝固性疾患の判断等に用います。
PT	プロトロンビン時間	11.3~14.4	秒	血液凝固の反応段階や反応部分に、異常があるかを調べます。血液凝固反応を起こす物質は主に肝臓で作られるため、肝機能の指標になります。血栓を予防する薬の治薬効果もみえます。INRは、どこの病院で検査しても同じ数値として判断できるように工夫された数値です。
		70~130	%	
		0.84~1.14	INR	
APTT	活性化部分トロンボプラスチン時間	24.0~34.0	秒	PTと共に出血性素因の疑われる方のスクリーニング等に用いられます。
GLU	血糖	73~109	mg/dL	血液中のブドウ糖の濃度を示します。食事の影響を受けやすく、食後に高くなります。調節にはホルモン等が関与していますが、膵臓から出るインスリンの量や機能が低下すると上昇します。
HbA1c	グリコヘモグロビン	4.6~6.2 (NGSP)	%	ブドウ糖と結びついたヘモグロビンです。血糖とは違い、食事の影響を受けません。赤血球の寿命(120日)と同じだけ、血液中にあるため1~2ヶ月前の血糖コントロールの善し悪しをあらわします。
HBs抗原	B型肝炎ウイルス抗原	(-)		B型肝炎ウイルスに感染しているか否かを調べます。
HCV抗体	C型肝炎ウイルス抗体	(-)		C型肝炎ウイルスに感染しているか、または感染したことがあるか否かを調べます。
CRP	C反応性蛋白	0.00~0.14	mg/dL	細菌感染をはじめ体内に炎症がないかがわかります。
TP	血清総蛋白	6.6~8.1	g/dL	全身状態の把握・病態・栄養の有無や体の状態をみます。
ALB	血清アルブミン	4.1~5.1	g/dL	肝臓の働きや栄養状態を調べます。
T-Bil	総ビリルビン	0.4~1.5	mg/dL	肝臓の障害や黄疸の種類を区別するために測定します。

項目	日本語名称	成人基準値	単位	検査説明
AST	アスパラギン酸 アミノトランス フェラーゼ	13~30	U/L	肝臓の状態が鋭敏に反映され、肝機能検査の代表とされています。心臓の病気の場合にも高くなります。
ALT	アラニン アミノトランス フェラーゼ	男性10~42 ----- 女性7~23	U/L	ASTよりも肝臓に特異性が高く、肝炎の病勢指標に用いられます。
LDH	乳酸脱水素 酵素	124~222	U/L	急性肝炎、肝硬変、心筋梗塞、悪性貧血、白血病や癌などさまざまな疾患の状態を他の検査と合わせて診ます。
γ-GTP	ガンマグルタミ ル トランス ペプチターゼ	男性13~64 ----- 女性9~32	U/L	主に肝臓の障害の程度がわかります。アルコールによく反応するので飲酒習慣との関連がわかります。
ChE	コリン エステラーゼ	男性240~486 ----- 女性201~421	U/L	肝臓の働き具合をみることができます。
ALP	アルカリフォス ファターゼ	38~113	U/L	肝臓の障害や胆石が原因で、胆汁の通り道である胆管がつかまっているかをみます。また、成長期や骨折後の回復期に高くなります。
AMY	アミラーゼ	44~132	U/L	膵臓や唾液腺の炎症がわかります。
CK	クレアチン キナーゼ	男性59~248 ----- 女性41~153	U/L	心筋や骨格筋などが損傷を受けると上昇します。激しい運動の後でも上昇がみられます。
T-Cho	総 コレステロール	150~219	mg/dL	生活習慣病の予防や治療を目的として検査します。値が高くなると動脈硬化の危険性が高くなります。
HDL-Cho	エイチディエル コレステロール	男性40~80 ----- 女性40~90	mg/dL	血管に沈着したコレステロールを取り除く善玉コレステロールです。低いと動脈硬化を起こしやすくなります。
LDL-Cho	エルディエル コレステロール	70~139	mg/dL	脂質と蛋白質が結びついたもので、コレステロールの運搬に重要な役割を果たしており、高値になると血管壁に沈着し動脈硬化が進みやすいといわれています。悪玉コレステロールとも呼ばれます。
TG	中性脂肪	50~149	mg/dL	動脈硬化の危険因子。食後は高値になります。
Na	ナトリウム	138~145	mEq/L	人体は、水・無機質・有機物質で構成されています。水は、総体重量の60%を占め、電解質(Na・K・Cl等)などを溶解し、細胞内外に分布し、バランスを保ち生命活動を維持しています。
K	カリウム	3.6~4.8	mEq/L	
Cl	クロール	101~108	mEq/L	
UN	尿素窒素	8~20	mg/dL	腎臓から尿に排出される体の老廃物の1つで腎機能を知るための指標になります。
CRE	クレアチニン	男性0.65~1.07 ----- 女性0.46~0.79	mg/dL	腎臓から尿に排出される体の老廃物の1つで、腎機能を知るための指標になります。腎機能の糸球体の指標となり、UNと共に判断します。腎機能異常等で高値になります。
Ca	カルシウム	8.8~10.1	mg/dL	Caの99%は、骨にあります。血液中のわずかなCaは、筋肉の収縮血液凝固・神経が刺激を伝える時など、生命維持に重要な働きをしています。
UA	尿酸	男性3.7~7.8 ----- 女性2.6~5.5	mg/dL	核酸やプリン体代謝の終末産物。主に痛風の指標になります。
AFP	αフェト プロテイン	7.0以下	ng/mL	肝臓癌、卵巣・精巣の癌で高値になります。また胃癌や膵臓癌でも高くなる場合があります。慢性肝炎・肝硬変・妊娠などでも上昇します。
CEA	ガン胎児性 タンパク抗原	5.9以下	ng/mL	消化器癌のふるい分け検査として用いられ、癌の治療後の経過観察、再発や転移の早期発見にも重要な検査です。胃癌・膵臓癌・胆道癌・肝臓癌・大腸癌のほかに肺癌・乳癌・甲状腺癌・子宮癌などで高値になります。また、大量喫煙や炎症性疾患・肝硬変・糖尿病で高値になることもあります。
CA19-9		34.4以下	U/mL	消化器系の癌で高値になり、特に膵臓癌で重要視されます。また、治療効果を調べる時の検査に適しています。
PSA	前立腺特異 抗原	4.00以下	ng/mL	前立腺癌の診断に重要視される検査で、前立腺癌の発見や経過観察に適しています。前立腺炎や前立腺肥大でも上昇することがあります。